

## Einführung

**服部 響子 Kyoko Hattori, Sopran**

京都市立音楽高等学校、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。

パルマ国立音楽院を賞賛、特別賞付きの満点で修了。在学中、パルマ・ソントクラブより奨学金を受ける。第57回全日本学生音楽コンクール高校の部一位。第6回レナター・テバルディ国際コンクールセミファイナリスト。これまでにオペラでは「フィガロの結婚」スザンナ役、「ジャンニ・スキッキ」ネッラ役、「愛の妙薬」ジャンネッタ役、またヴィヴァルディ「グローリア」、ベートーヴェン「交響曲第九番」、プーランク「グローリア」、モーツァルト「レクイエム」等のソリストを務める。(伊)ポローニャ音楽祭でのヴェーベルン「室内オーケストラとソプラノの為の4つの歌」、(伊)ナツィオーニ音楽祭でのラヴェル「マダガスカル島民の歌」の演奏では好評を得た。これまでに竹内光男、納多正明、川上洋司、菅英三子、G.バンツァ、M.デヴィーアの各氏に師事。

**矢守 渚奈子 Minako Yamori, Alt**

滋賀県立石山高等学校音楽科卒業。同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽専攻卒業。

第17回京都芸術祭「世界に翔く若き音楽家たち」、同志社女子大学音楽学会<頌啓会>新人演奏会に出演。2001年夏~2010年、ジャパンユース合唱団メンバー、2006年、アジアユース合唱団日本人メンバー。2007年夏、インドネシアで行われたアジアユース合唱団に日本人代表として参加。現在、エリザベト音楽大学付属エリザベトシンガーズ正団員、少年少女合唱団「星の子」指揮者、能登川コールジャンテアンサンブルトレーナーを務める他、滋賀、京都、大阪、岐阜などでアンサンブル、合唱を中心に精力的に取り組んでいる。声楽を木川田温子氏、指揮法を松原千振氏に師事。

**納多 正明 Masaaki Noda, Tenor**

東京藝術大学音楽学部卒業。関西二期会に所属し、オペラ「ジャンニ・スキッキ」「フィガロの結婚」「カヴァレリアスチカーナ」「タンホイザー」「真夏の夜の夢」「ねじの回転」等多くの作品で好演。日本のオペラでは「おこんじょうり」「脳死を越えて」「人買い太郎兵衛」等がある。パッサ「クリスマスオラトリオ」モーツァルト「レクイエム」ハイドン「天地創造」等のソリストとしても活躍。アカペラの男声六重唱「ジバングコンサート」のメンバーでもあり、1996年、京都バロックザールの演奏で青山音楽奨励賞を受賞。大阪芸術大学、相愛大学、平安女学院大学、芦屋女子短期大学、京都市立堀川音楽高等学校の講師を経て、現在、兵庫県立西宮高等学校音楽科講師。

**油井 宏隆 Hiroataka Yui, Baß**

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。2002年文部科学省海外派遣によりミラノに留学。今までに「フィガロの結婚」のフィガロ、伯爵、「コン・ファン・トゥッテ」のグリエルモ、「ハンゼルとグレーテル」のペーター、「メリー・ウィドウ」のダニロ、「トリアヴィータ」のジェルモン「愛の妙薬」のベルコーレ、「リゴレット」のタイトルロール、「アイダ」のアモナスロなどに出演。そのほかに日演連主催のリサイタル、廣田の森コンサートにてリサイタル、「第九」や「マイア受難曲」フォーレの「レクイエム」などのソリスト、ミュージカルにも多数出演。またイタリアではバヴィアのフラスキーニ劇場、マチェラータのラウロ・ロッソ劇場、ミラノのロゼットゥム劇場、チルコロ・バヴィア・リリカなどに出演する。第4回大阪国際コンクール声楽部門（一般の部）第1位及び宇野收賞受賞、第2回神戸コンコロ最優秀者賞、第9回摂津音楽祭奨励賞、関西二期会29期生特待生入所。田原祥一郎に師事。大阪城南女子短期大学教授、関西二期会正会員、川西音楽家協会会員。

**松園 洋二 Yoji Matsuzono, Orgel**

京都市立芸術大学音楽学部作曲専修卒業。音楽学部賞受賞。同大学院修了。

主な作品に、音楽物語「きつねのおきゃくさま」、男声合唱組曲「雪だるま溶けた」、ミュージカル「さくらの船旅」、歌曲集「工藤直子の詩によるうたの絵本」などがある。作品を発表する傍ら、伴奏者としても幅広く活動。京都フランス音楽アカデミーや数々のコンクールにて伴奏を務める。

京都フィルハーモニー室内合奏団のピアニストを経て、現在平安女学院大学子ども教育学部教授。京都市立芸術大学音楽学部合唱（伴奏）非常勤講師。

**板倉 計夫 Kazuo Itakura, Chordirigent**

島根大学教育学部特音課程卒業。モーツァルト「魔笛」（モノスタス）、メロッティ「アマールと三人の王様」（カスパール）、「助けてグロポリクスだ」（ティモシー）、青島広志「たそがれは逢魔の時間」（たそがれた課長）、林光「浮かれのひょうろ六機織り唄」（かすけ）、「おこんじょうり」（ごんすけ）、「あまみじゃくとうり姫」（けらい）、間宮芳生「人買い太郎兵衛」（次郎作）など脇役を軽妙に歌い演じてきたが、原嘉壽子「祝い歌が流れる夜に」（中川義夫）、メロッティ「領事」（アッサン）などシリアスな役でも存在感を示す。1989年イタリア キエーティ市のマルチーノ歌劇場、アトリ市の市立歌劇場その他4都市で歌った。1997年イタリア ベスカーラ市ロザリオ教会で亀岡混声合唱団の演奏会を開催。イタリア人韓国人の独唱者と共にモーツァルト「戴冠ミサ」を演奏。満員の聴衆から総立ちの拍手を受けた。大原豊彦、田原祥一郎、ブルーノ・ベラガッティ氏に師事。亀岡混声合唱団、女声合唱団「やまゆり」、サントリー1万人の第九合唱指導者。2018年5月イタリア ベスカーラ市、アカデミア・ベルカントより「ベルカント唱法の芸術家」の認定を受けた。

**亀岡混声合唱団 Coro di Kameoka**

1986年、亀岡第九を歌う会のメンバーを中心に発足し、1991年、板倉計夫を指揮者に迎え、亀岡にて第2回の定期演奏会を開催した。1997年、イタリア ベスカーラ市ロザリオ教会で演奏会を開催、イタリア・韓国人の独唱者と共にモーツァルト「戴冠ミサ」を演奏し、満員の聴衆から総立ちの拍手を受けた。1993年より大阪モーツァルトアンサンブルとのミサ曲の共演が始まり、2015年11月29日（日）ガレリア亀岡コンベンションホールでの第26回定期演奏会で23回目を迎える。

**大阪モーツァルトアンサンブル Osaka Mozart Ensemble**

1984年、大阪大学大学院生を中心に発足。以後、京阪神の各大学オーケストラOBを結集し、年間4~5回の演奏活動を続けている。指揮者を置かず自発的なアンサンブルの実現を目指す。演奏会では主にモーツァルトの作品を取り上げ、最新の研究成果に基づいて編纂された原典版を使用し、当時の一般的な編成で演奏している。1986年6月に行った特別演奏会では、ヴィーン・フィルのアルフレート・プリンツ氏、アダルベルト・スコッチチ氏等と共演し、好評を博した。1986年から1990年にステラ・プロテッチ氏と4度共演。1988年5月には、小山亮氏と新モーツァルト全集版によるホルン協奏曲全曲をレコーディングした。1989年から1994年、関西モーツァルト協会例会に7度出演。1991年12月5日、大阪カテドラル聖マリア大聖堂におけるモーツァルト没後200年記念追悼ミサでレクイエムを演奏した。1995年にはザルツブルク大聖堂でミサに出演、モーツァルテウム大ホール、ヴィーン・ミニリーテン教会で演奏会を行った。1996年から2000年にかけてモーツァルト劇場例会に5度出演。2004年、指揮者なしでのモーツァルトの交響曲全曲演奏を20年かけて完結した。